

第3期宮前区区民会議 第6回企画部会

～みんなで力を合わせてくらしやすい地域社会をつくろう～

日時：平成23年11月21日(月)18:00～20:00

場所：区役所4階第2会議室

次 第

- 1 第6回全体会の議事
- 2 宮前区区民会議フォーラム
- 3 その他

【配布資料】

第6回宮前区区民会議資料

第3期宮前区区民会議 第6回全体会

～みんなで力を合わせてくらしやすい地域社会をつくろう～

日時：平成23年11月28日(月)18:00～19:30

場所：宮前区役所 4階大会議室

次 第

1 開会

2 議事

(1) 「第3期区民会議 提案素案」について

ア 専門部会からの報告

イ 意見交換

(2) 宮前区区民会議フォーラムの概要について

3 その他

- ・第2期区民会議提案事業の進捗状況
- ・今後のスケジュール
- ・区民会議交流会
- ・平成24年度地域課題対応事業 計画(案)

【配布資料】

- 資料1 第3期区民会議 提案素案の概要
- 資料2 活力づくり部会 提案素案
- 資料3 地参知笑部会 提案素案
- 資料4 宮前区区民会議フォーラムの概要(案)
- 参考1 冒険遊び場活動の取組状況
- 参考2 みやまえカルタの取組状況
- 参考3 今後のスケジュール
- 参考4 平成23年度 区民会議交流会の開催について
- 参考5 平成24年度 地域課題対応事業 計画(案)

第3期宮前区区民会議 提案素案の概要

～宮前区を、ただ「住む」だけでなく「暮らす」ために～

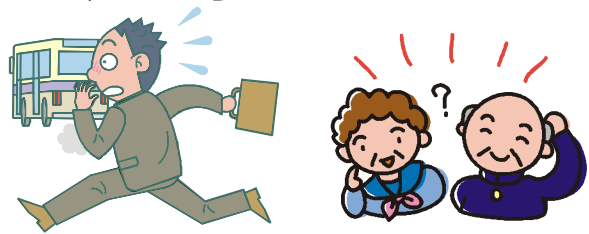
当面の目標

宮前区の基礎力アップ！地域社会の土壌づくりをしよう！

- ・区民が「宮前区」を意識する機会を多くし、地元への愛着や帰属意識をつくる
- ・地域社会と接点を持ち、地域社会に参加する人たちを増やす

ターゲット

①宮前区に住んでいる or 長年住んできたが、これまでは特に地域社会と関わらないで来た人たち



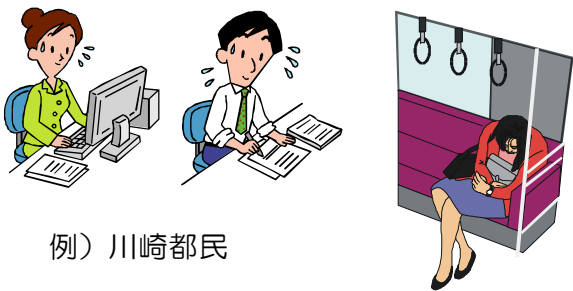
例) 会社人間、シニア世代

②地縁・血縁があるわけではなく、田園都市線のイメージに惹かれなんとなく宮前区を選んだ人たち



例) 子育て世代、田園都市線マダム?

③核家族や共働きなどで、宮前区は単に寝るだけになってしまっている人たち



例) 川崎都民

④宮前区に引っ越して来たばかりの人たち



例) 転入者、子育て世代

アプローチ

まずは「宮前区」に対してポジティブな気持ちを持ってもらおう

- ・「宮前区での生活の楽しみ方」、「このまちとの上手な付き合い方」などを打ち出し、「楽しそう」「面白そう」「好奇心が湧く」「共感できる」といったポジティブな感情を起こすことで、興味を持ってもらおう！
- ・そして、実際に宮前区での生活を楽しんだり、それを支えている「人」と交流したりすることで、無理なく自然と地域社会に入って来てもらおう！

活力づくり部会からの提案

宮前区の特徴である坂道を活かし、まちの魅力づくりや健康づくりなどの活力づくりにつなげるための検討をしました。

提案

宮前区の坂道を知ってもらおう
坂道を使ったイベントをしよう

▲取り組むべき課題

- × 区内の由緒ある坂道の存在や場所が知られていない
- × 坂道を活用したイベントがない
- × 健康づくりにつながるなどの坂道の価値が知られていない

★目標

- 坂道を活用して・・・
- ◎ 地域への参加を促そう
 - ◎ 宮前区に愛着を持ってもらおう
 - ◎ 健康な体づくりをしよう



【具体的な実施内容】

①	(仮称)みやまえ坂道ウォークの作成	坂道の魅力を広く紹介するとともに、坂道の起伏を利用した健康づくりについての情報をまとめたガイドブックを作成します
②	坂道ウォーキングイベントの開催	区内坂道への興味を引き、楽しんでもらうとともに、日常的な健康づくりにつなげるため、坂道を活用したイベントを開催します

地参知笑部会からの提案

幅広い意味で「地」域の産物を活かし、地域の魅力を「知」り、地域社会への「参」加につなげ、「笑」顔の広がるまちにしていくための検討をしました。

提案

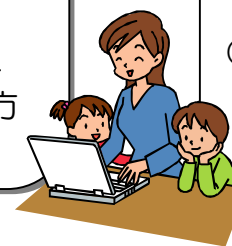
宮前区の魅力や楽しみ方を発信しよう
宮前区の地域情報を戦略的に発信しよう

▲取り組むべき課題

- × 地域になじみが薄く、「住む」だけの区民が多い
- × 地域コミュニティに参加し、「暮らす」ための情報が不足
- × これまでの情報発信のやり方では区民に伝わらない

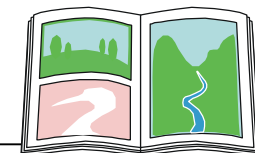
★目標

- 効果的な情報発信を通じて・・・
- ◎ 宮前区の魅力やまちの楽しみ方をもっと知ってもらう
 - ◎ 宮前区に愛着を持ってもらい、地域コミュニティへの参加を促そう



【具体的な実施内容】

①	地域コミュニティへの参加を促す冊子の作成	転入者や川崎都民が、興味を持って読んで実際に参加してみたくなるような、魅力的でわくわく感のある冊子を作成します
②	「みやまえ情報サポーターズ」を結成	さまざまなメディアを使いながら、宮前区の魅力的な地域情報を区民の目線から継続的に発信する仕組みをつくります



活力づくり部会 提案素案(案)

坂道を活かした地域の活力づくりに関する提案

1 提案の背景

(1) 宮前区を特徴づける坂道

宮前区は、川崎市北西部に位置し（右図）、なだらかな丘の続く多摩丘陵の東の端にあって起伏に富んだ地形が特徴となっています。

そのため、通勤・通学や買い物、散歩などの日常生活で、必ずといっていいほど坂道を通らなければならず、坂道は宮前区での暮らしに密接に関わっているといえます。

宮前区では、平成 11(1999)年度から 12(2000)年度にかけて、18 箇所の坂道を選び、その愛称を区民から募集しました。そして、それぞれの坂道に名称や成り立ちを示した標識を建てました（下写真）。

この他、古くからある坂道を合わせると、38 箇所に名称が付いていますが、名称のない坂道も多数あります。



出典：川崎市緑の基本計画
(H20年3月)を加工

【庚申坂】



坂道の標識

【富士見坂】



【八幡坂】



(2) 坂道をポジティブに捉える動き

坂道は一般的に、登りは疲れ下りは危なく、歩行や自転車での移動の妨げになるなどマイナスイメージが持たれます。そのため坂道は、尾道市や長崎市などの観光名所を除いて、これまでは地域資源としての認識は十分ではありませんでした。また、高齢化の進展を考えると、マイナスイメージがさらに強くなります。

こうしたマイナスの地域資源を逆にポジティブに捉え、うまく利用している地域があります。例えば、同じく坂道の多い座間市では、座間青年会議所が中心となって、「ZAMA 坂道マラソン」を開催しています。試行錯誤しながら運営して

いるとのことですが、300 人以上の参加者が集まり、大変な盛り上がりを見せています。

このように、日常生活にマイナスの影響を与えがちな坂道も、見方を変えれば、プラスの効果をもたらす地域資源になることがわかります。

第1回ZAMA坂道マラソンのパンフレット



(3) 高齢化と健康づくりへの関心

宮前区の高齢化率は平成 23(2011)年度現在で約 15%ですが、5年後には約 20%になることが予測されています。また、単身高齢者が増加し、自宅に引きこもりがちになることが懸念されています。



宮前区では、高齢者の健康維持・増進、介護予防などのため、地域住民が主体の公園体操の普及に努めています。平成 19(2007)年度に 23 会場だった公園体操（上写真）が、23 年 10 月時点では 38 会場に増え、高齢者の健康づくりへの関心の高まりが表れています。

また、中高年の生活習慣病やメタボリックシンドロームの予防に向けて、ウォーキングやジョギングなどにより日頃から体を動かす習慣を身につけておく必要があります。

2 提案

活力づくり部会では、宮前区の特徴ともいえる坂道を活かし、まちの魅力づくりや健康づくりなどの、地域の活力づくりにつなげるための検討を行い、2つの提案をまとめました。

取組の全体像

提案

宮前区の坂道を知ってもらおう
坂道を使ったイベントをしよう

取り組むべき課題

- × 区内の由緒ある坂道の存在や場所が知られていない
- × 坂道を活用したイベントがない
- × 健康づくりにつながるなどの坂道の価値が知られていない

目標

坂道を活用して・・・
地域への参加を促そう
宮前区に愛着を持ってもらおう
健康な体づくりをしよう

3 提案の具体的な内容

提案 : 宮前区の坂道を知ってもらおう

実施内容

「(仮称)みやまえ坂道ウォーク」の作成

歴史的由緒のある坂や美しい並木道がある坂道など、坂道の魅力を広く紹介するとともに、坂道の起伏を利用した健康づくりについての情報をまとめたガイドブック、「(仮称)みやまえ坂道ウォーク」(以下「坂道ウォーク」)を作成します。

【趣旨・目的】

- 宮前区の特徴である坂道は、標識のある18の坂道が「みやまえばーたろう」の特集「坂道は続くよ、どこまでも」で紹介されるなど、一定のPRはなされているものの、地域資源として積極的に活用するまでには至っていません。
- 地域資源として坂道が認識されるには、「どこに18の坂道があるか」、「どのように回って行けば良いか」、「どのような魅力があるか」、「どのくらいの距離・時間になるか」、「どのように健康的づくりにつなげるか」などの情報を、包括的かつシンプルに発信していくことが必要となります。
- 坂道ウォークは、こうした情報を発信し、日常生活や余暇に活用してもらい、坂道の良さを知ってもらおうという効果が期待されます。

【「坂道ウォーク」の内容】

- 標識のある18の坂道を通るウォーキングコースを6コース紹介(次ページ図)。1コース2時間程度で歩けるようにします。
- 地図や解説に加え、次のようなウォーキングに必要な情報、楽しく歩くための情報を簡潔にまとめます。

【掲載情報】

坂道データ(歩数、長さ、高低差)、四季折々の自然や景色、歴史、公園・トイレ・休めるところなど

- 坂道の歩き方や健康づくりに関する情報
(膝の曲げ具合、呼吸法、消費カロリー計算方法など)
- 坂道ウォーキングの準備に関する情報
(ウォーキング時の服装や持ち物、準備体操など)
- スタンプコーナーなど、日常的に坂道に親しめるような仕掛けのページ

6 コースの
対象エリア



【作成主体】

平成 23 年 9 月に活力づくり部会委員の有志によるワーキンググループを立ち上げ、「坂道ウォーク」のたたき台を作成しました。

平成 24 年度は、これを基に、活力づくり部会にいた委員が関わりながら、「坂道ウォーク」を完成させます。

【完成時期】

完成は平成 24 年夏ごろを目標とし、区制 30 周年に合わせて出版します。

【「坂道ウォーク」のPR】

「坂道ウォーク」を普及させ、多くの区民に坂道ウォーキングのイベントに参加してもらうため、効果的にPRを実施する必要があります。

- 区内公共施設で坂道ウォークを配布するのはもちろんのこと、宮前区在住の著名人や川崎フロンターレなどの協力を得て、坂道ウォーキングのメリットをPRしてもらいます。
- 宮前区のポータルサイト「みやまえぽーたろう」やソーシャルメディア、マスコミを積極的に活用したりするなど、多様なメディアを活用したPRを行います。

※なお、地参知笑部会で提案された、区の情報発信を担う「(仮称)みやまえ情報サポーターズ」の実践活動の一環として、多様なメディアを活用した情報発信を位置づけています。

提案：坂道を使ったイベントをしよう！

実施内容

坂道ウォーキングイベントの開催

宮前区の坂道への興味を引き、楽しんでもらうとともに、坂道の上り下りで足腰を鍛えて日常的な健康づくりにつなげるために、坂道を活用した「坂道ウォーキングイベント」を開催します。

【趣旨・目的】

- 坂道を活用したウォーキングイベントを開催し、実際に身近にある坂道を歩いてもらうことで、地域の歴史や残されている自然、ウォーキングの爽快感など、地域資源としての価値を広く知ってもらいます。
- 坂道ウォーキングは、足腰に負荷がかかるため、平地歩行に比べて筋力トレーニングとしての効果があります。一方で、体に負荷がかかる分、正しい歩き方を身に付け、無理のないペースで歩くことが大切です。イベントを通じて、健康づくりを意識した坂道ウォーキングの普及・啓発を進めていきます。
- 多くの人々が参加して楽しめるイベントを開催することによって、参加者が日常的なウォーキング活動を楽しむ契機になるとともに、地域の盛り上がりや一体感につながり、地域コミュニティの活性化につながることを期待できます。



出典：目黒区「坂道ウォーキングのすすめ」（H22年3月）

【実施主体】

- 坂道ウォーキングイベントを、単発の娯楽として終わらせるのではなく、地域を見つめなおし、コミュニティの活性化につなげるのが重要です。
- そのためには、地域の団体や区民が主体となって坂道ウォーキングイベントを運営し、それを区役所が支援する「協働」の形態で実施することが、地域の底力のアップにつながります。

【実施方法】

- 既存の団体が実施しているウォーキング講座やイベントで、ガイドブックを活用してもらうなど、既存の取組との連携を図ることが必要です。
- 地域と区役所の協働による事業実施手法として、「宮前区地域課題の解決を図る事業提案制度」の活用も考えられます。

この制度は、地域で抱える課題とその解決方法について、市民活動団体な

どから広く提案を募集した後、採択された提案を実際に当該団体が区役所と協働して実施する制度です。

【実施内容】

区民会議では、実施内容として次のようなアイデアが出されました。

●坂道ウォーキング大会

四季を感じられる、また、野菜、歴史、景色の良い場所など地域資源のテーマを設定するなど、宮前区の良いところに触れることができるウォーキングイベント

●坂道スタンプラリー

いくつかの坂道を回ると1つの文字になる、写真クイズで同じ坂道風景の写真を撮るなどのクイズ形式

●坂道健康教室

坂道の歩き方、準備運動や整理体操、消費カロリーの計算方法等の健康づくりに関した情報を実践しながら学べる教室

◆イベントの企画や運営上の工夫として・・・

一人でも気楽に参加できる、親子で楽しめる、自分のペースで歩ける、達成感がある、主催者を変えることでマンネリ化とスタッフの参加疲れを防ぐ、完歩者への景品、スマートフォンやQRコードの活用など

（留意事項）

最初から、数百人が一斉にスタートするような大規模なイベントの開催を目指すのは、安全確保や参加者の誘導などの運営上、難しい面もあります。

最初は参加者をスタート時間や日程で分散させたり、期間を広く設定したスタンプラリーを実施したりしながら実績を重ね、ノウハウの蓄積や区民の坂道への理解が浸透した段階で、大規模なイベント（発展形としての坂道マラソン大会も含む）の開催を目指すことが現実的であると考えられます。

【開催頻度】

イベントは、年1、2回程度の実施を想定します。

4 活力づくり部会の検討経過

第1回	8名出席	平成22年8月31日(火)
	・宮前区らしさ・地域特性を活かしたコミュニティづくりのイメージ 等	
第2回	8名出席	平成22年9月30日(木)
	・地産地消の具体的な題材 ・部会名称と部会長	
第3回	9名出席	平成22年12月2日(木)
	・地産地消を通じたコミュニティづくり ・部会の名称	
第4回	8名出席	平成23年1月28日(金)
	・コミュニティづくりにつながる仕掛けづくり ・区民会議フォーラムの開催について	
第5回	9名出席	平成23年4月15日(金)
	・地域への参加を促すための冊子の目的・読者のターゲットなどを検討	
第6回	8名出席	平成23年5月16日(月)
	・冊子の目次案のまとめ	
第7回	9名出席	平成23年6月14日(火)
	・コンテンツのイメージと制作体制を検討	
第8回	7名出席	平成23年7月15日(金)
	・冊子の制作体制と区の情報戦略を検討	
第9回	9名出席	平成23年9月28日(水)
	・区の情報戦略と冊子についてのまとめ	
第10回	7名出席	平成23年11月2日(水)
	・提案素案の検討	

(仮称)みやまえ坂道ウォーク 目次(構成)案

	必要な内容	目黒区版	宮前区版
1	表裏表紙	2	2
2	紹介分(区民会議提案を一文含む)	1	1
3	目次	1	1
4	坂道ウォーキングのすすめ	3	2
5	坂道ウォーキングの効果(教授)	1	0
6	坂道ウォーキングアドバイス	2	2
7	準備体操・整理体操+(公園体操の案内)	2	2
8	全コース地図	2	2
9	各コース紹介	24	24
10	路線バス地図(必要だが省略。各自下調べ期待)		0
11	坂道データ集+(ぼーたろうの紹介)	1	1
12	編集後記	1	1
13	坂道制覇を目指そう(スタンプラリーの案内)		1
14	スタンプラリーブック(スタンプシールを貼るページ)		1
12	総ページ数	40	40

説明1:総ページは目黒区版と同じとする。(持ち歩くには、これが限度)

説明2:各版の数字は、その項目(内容)を記載するページ数を示す。

説明3:内容欄のカッコ内は宮前区版での追加を示す。

説明4:スタンプラリーの考え方

(1)坂道(18坂:6つのコース)の制覇達成を目標としてもらう仕掛けです

(2)スタンプ(シール)は各コースの行政施設(例:区役所やこども文化センター)で配布。

(3)全スタンプ(シール)を貼付した方には、制覇シールを贈呈(区役所で)

(他のタイトル案)

- ・宮前坂道ウォーキングガイド
- ・生き生き住民、行く往く坂道
- ・坂道ウォークで宮前区を知ろう ～坂道スタンプラリーブック～
- ・楽しみながら健康ウォーキング
- ・みやまえの健康坂道ウォーキング



写真

行き活き

みやまえ
坂道ウォーク



コースを巡り坂道制覇！！スタンプラリー台紙

街路樹と古い 街道探訪コース

コースデータ

- 距離：約6km
- 時間：約2時間
- 歩数：約10,000歩
- 消費カロリー：約0kcal

ルート(スタートからの通算距離)

- 宮前平駅
- ① 堂脇坂 (0.7km)
- ② さくら坂、宮崎台駅 (1.2km)
- ③ 電車とバスの博物館 (1.5km)
- ④ 長坂 (1.7km)
- ⑤ 庚申坂 (2.1km)
- ⑥ 王禅寺道 (3.5km)
- ⑦ へび坂 (4.9km)
- ⑧ 八幡坂 (5.6km)
- 宮前平駅 (6km)



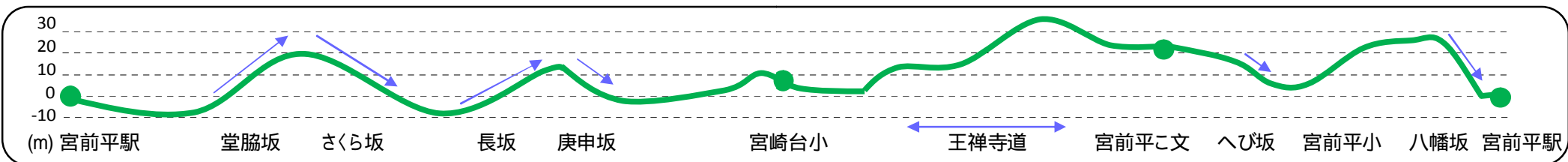
! ココが分岐点

1 花壇
 庚申坂の標識
 花壇が途切れたところで右に曲がり、すぐ左に見える水路沿いに進みます。
 水路

2 上り坂
 左手に見えるカーブミラーを目印に右に曲がり、その先にある五差路で、右前方の上り坂を上ります。
 カーブミラー

3 右手に見えるカーブミラーを目印に、左に見える下り坂を下ります。
 カーブミラー

コースの起伏



街路樹と古い街道探訪コース



宮崎や宮前平のきれいな並木道を楽しめるよ。歴史ある旧道も歩いてみよう。



へび坂

短いが蛇のように曲がりくねった坂。閑静な住宅街を曲がるとそこは別世界！！樹木が茂り夏でも涼しく感じます。



八幡坂

急な傾斜に長い坂、途中で道は大きくカーブしています。旧大山街道の一部で、坂の下に名前の由来である「八幡神社」があります。体力がいたら、お参りも兼ねて石段にチャレンジしてみてもは！？

八幡神社

神社の石段を2つに分け、一方は旧土橋村、一方は旧馬絹村に属していました。このため、1つの社殿に両村の御神体が祭られています。



すご～い



堂脇坂

緩やかにカーブする坂道の両側に続くケヤキ並木は、新緑や紅葉が美しく、通る人の心を癒してくれます。坂の近くに昔お堂があり、堂脇と呼ばれていたことから坂の名前がつけました。

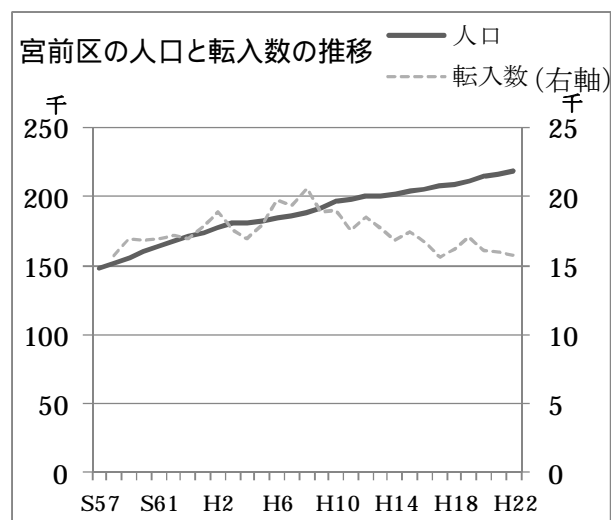
地参知笑部会 提案素案(案)

コミュニティへの参加を促す冊子と情報戦略に関する提案

1 背景と課題

(1) 転出入者や川崎都民が多い宮前区

- 宮前区では毎年7千世帯(約1万6千人)が転入していますが、これらの世帯は地域に知り合いがない場合が多く、孤立しがちです。学齢児のいる世帯が子どもを通じて地域に関わる機会を持つのに対し、特に乳幼児を抱える世帯や高齢者世帯では、地域に関わるきっかけが少なく、転入後も孤立が続く恐れがあります。
- 宮前区では平日は都内に通勤・通学し、休日は東京や横浜など宮前区以外を買い物やリクリエーションの場とする「川崎都民」が多くなっています。これらの層は宮前区への関心が低いため情報が届きにくく、宮前区に存在する魅力的な地域資源を認識していない状況にあります。
- こうした、地域で孤立した人や宮前区に「住む」だけの人増加が、地域コミュニティ希薄化の一因になっていると考えられます。



(2) 宮前区で「暮らす」ための情報提供が必要

- このような状況から、地域へのなじみの薄い人に、宮前区で単に「住む」だけでなく、地域との関わりを持ったり、宮前区の産物や行事を楽しんだりできるような、「暮らす」ための情報提供を積極的に行うことが課題となっています。
- これまでも区・市や民間企業が、地域情報を紹介するパンフレットやマップを発行してきましたが、内容が似通っていたり、興味を引くような記事や紙面構成になっていなかったりするケースがありました。
- インターネットの情報発信については、宮前区の地域ポータルサイト「ぽーたろう」がありますが、区民に十分に認知されていない面があります。また、若者を中心に、さまざまなソーシャルメディアを使って、口コミ情報を交換したり、同じ関心を持つ人同士でつながり合ったりする動きが広がっています。
- 今後は、転入者や川崎都民と言われる人たちに、宮前区で「暮らす」ためのわかりやすい情報を、紙媒体やインターネット等を組み合わせて、さまざまなチャンネルから効果的に伝達していく必要があります。

(3) 宮前区に愛着を持ち、地域への参加を促すコンテンツが必要

- 情報提供においては、「送り手」からの視点で地域情報を一方的に流すだけでは、情報に対する興味は持たれませんし、そもそも情報にアクセスしてもらえないかも知れません。こうした従来型の手法の延長では、地域での孤立や宮前区への無関心といった問題の解決はあまり期待できません。
- これからは、情報を受ける側の視点で魅力的なコンテンツを作成していくことが大切です。そのためには、これまで「受け手」であった人たちに、情報提供のコンテンツをつくる過程に参加してもらい、さらに、そのコンテンツを見た人たちに地域への参加を促す仕掛けを盛り込むなど、さまざまな工夫をしていく必要があります。

2 提案

地参知笑部会では、幅広い意味で「地」域の産物を活かし、地域の魅力を「知」り、地域社会への「参」加につなげ、「笑」顔の広がるまちにしていくための検討をして、2つの提案をまとめました。

取組の全体像

提案

宮前区の魅力や楽しみ方を発信しよう
宮前区の地域情報を戦略的に発信しよう

取り組むべき課題

- × 地域になじみが薄く、「住む」だけの区民が多い
- × 地域コミュニティに参加し、「暮らす」ための情報が不足
- × これまでの情報発信のやり方では区民に伝わらない

目標

効果的な情報発信を通じて・・・
宮前区の魅力やまちの楽しみ方をもっと知ってもらおう
宮前区に愛着を持ってもらい、地域コミュニティへの参加を促す

3 提案の具体的な内容

提案 : 宮前区の魅力や楽しみ方を発信しよう

実施内容

地域コミュニティへの参加を促す冊子の作成

転入者や川崎都民が、興味を持って読んで実際に参加してみたいくなるような、魅力的でわくわく感のある冊子を作成します。

【趣旨・目的】

- ・宮前区になじみの薄い区民（特に新住民や川崎都民など）をターゲットに、宮前区の魅力（モノ・場所・活動・人）やまちの楽しみ方を紹介することにより、宮前区に愛着を持ち、地域への参加を促すことを目的に制作します。
- ・インターネットが普及した現在においても、紙媒体による情報は年代を問わずに受け入れられる情報媒体であるため、この冊子を地域情報発信の第1のステップとして位置づけます。

【冊子作成主体】

- ・区民を募り、地域情報の発掘・取材・記事化して作り上げていきます。
- ・しかし、こうした冊子作りのノウハウを持つ区民は限られていますし、限られた人に依存しては、情報発信の裾野が広がりません。そのため、人材育成を図りながら、市民館と区役所が連携した「(仮称)みやまえ情報サポーターズ養成講座」を開設し、その実践プログラムの一環として冊子を作成していきます。

【掲載する情報】

- ・冊子のコンセプトは、次のとおりです。

- ①コミュニティへの参加を促すものとする
- ②項目ごとにターゲットとなる読者を明確にする
 - ・転入者や川崎都民など、情報が届きにくい層
 - ・高齢者や子育て世代などの世代別などの切り口
- ③個々人がほしい情報をわかりやすく伝える
 - ・ガイドブックのガイドブック的なイメージ
 - ・10分程度で一通り読めるくらいのボリューム
 - ・顔の見える親しみやすいものにする
 - ・読み物としても面白いものとする

- このコンセプトを基に、区民会議でイメージをまとめましたので、これをベースに、作成を担う講座参加者（※提案2で説明）のアイデアを取り入れながら作り上げていきます。

コンテンツのイメージ

1 世代別レポート

地域に参加している世代別の区民を取材したり、様々なことを体験してもらい、そのレポートを記事にして掲載します。

- ①中高生・大学生
- ②若い（子育て）世代
- ③働き世代
- ④高齢世代

2 体験できるページ

- いちご狩りやお祭りの時の神輿担ぎ等、区内で誰でも体験できるイベント等の情報を掲載します。体験を通して、その土地となじむことができ、地域とのつながりのきっかけになるような内容とします。
- 町会・自治会と関わるきっかけとなったり、市民館等での学習の機会を通じて知り合い・仲間をつくったりするような視点も考えられます。

3 ゲーム等

- スタンプラリーや謎解きゲーム等、単に読むだけでなく気軽に参加できる内容を掲載します。区民会議から生れた「みやまえカルタ」等との連携でも考えられます。
- 住民・企業・団体・行政が連携した仕掛けにより、情報発信から地域づくりに発展させることができます。例えば、商店街等とタイアップして、スタンプラリーのスタンプ拠点をお店にすることによって、地域の活性化も期待できます。

4 ガイドブックのガイド

これまでに区や市が発行した地域情報に関する冊子のリストを掲載します。よりくわしい内容はこれらの冊子で得てもらうようにします。

5 宮前区のプロフィール・概要

宮前区の人口、面積等のプロフィールや、特徴を表すデータ等をコラム的に掲載します。また、宮前区はエリア別に特徴があるので、それがわかる情報も掲載します。

【ページ数、部数等】

- A4判、オールカラーで20ページ程度とします。
- 毎年1万部印刷し、転入世帯への配布を中心に、公共施設で配布するとともに、区ホームページに掲載します。
- 平成24年度中に作成し、3年程度を目安に改定します。

【スケジュール】

- ・「(仮称)みやまえ情報サポーターズ養成講座」は、次のようなスケジュールを想定します。

平成 24 年 3 月 公募開始

平成 24 年 4～5 月 講座スタート

- ・ 15 回程度

- ・ 他に取材や任意の打ち合わせを行う

平成 25 年 3 月 冊子発行

【作成協力】

- ・ 冊子作成にあたっては、講座において冊子の趣旨を理解してもらったり、受講生が取材する人・場所や、地域資源についてのアドバイスしてもらうなどの協力が必要です。地域に精通した区民会議委員が、これらを紹介するなどの協力をするものとします。

【その他】

- ・ 開催日時は平日の午前中として、主婦層やリタイア層を主な対象と想定します。
- ・ 具体的なプログラムを今後検討していきます(1 月には案を示す)。

提案 : 宮前区の地域情報を戦略的に発信しよう

実施内容

「みやまえ情報サポーターズ」を結成

さまざまなメディアを使いながら、宮前区の魅力的な地域情報を区民の目線から継続的に発信する「みやまえ情報サポーターズ」を結成します。

【趣旨・目的】

- ・ 地域の魅力や楽しみ方を、市民や地域が主体となって発信しようとする動きが広がっています。例えば新百合ヶ丘では、大学生と地元タウン紙が協力して、大学生の視点から見た新百合ヶ丘のガイドブック「しんゆり Campus」(右写真)を制作しています。ここでは、しんゆりデートプランやリーズナブルでおいしいを大学生の視点から、大学生の言葉で紹介しています。こうした情報発信は、公平性やバランス感覚を重視する行



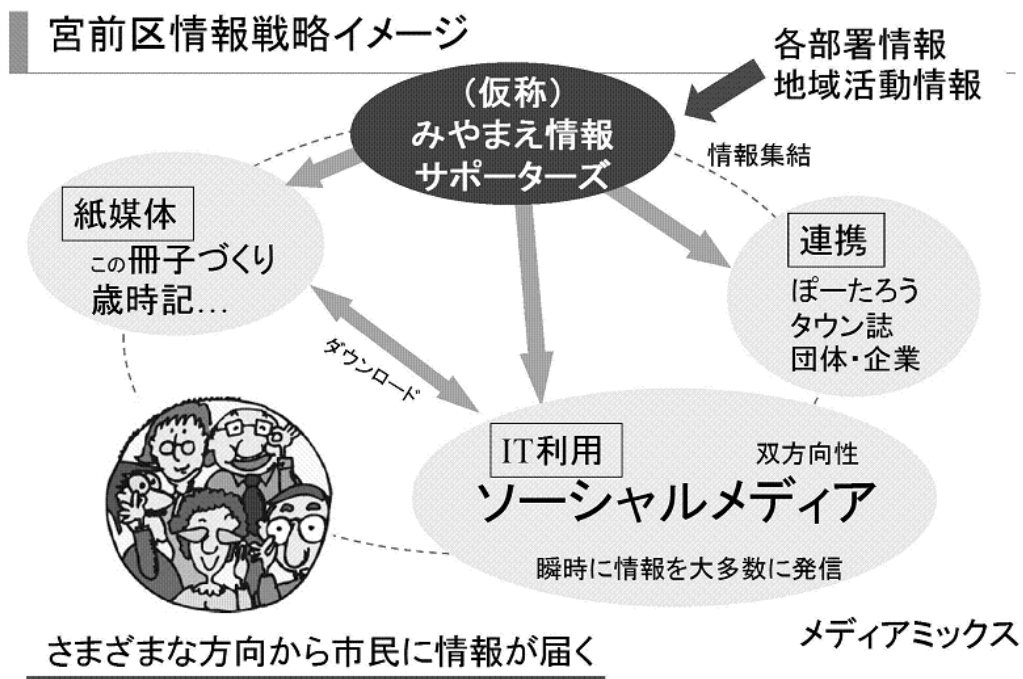
政からは、出にくい面がありますので、市民や地域が主体になっているからできるものと考えられます。

- また、近年の youtube などの動画配信や facebook（下写真）、twitter などのソーシャルメディアの興隆とともに、誰でも不特定多数の人に情報発信し、関心のある人同士がつながり合えるようになってきています。それらを活用して、地域のオススメ情報や口コミ情報を発信する動きが各地で活発化しており、これまで主流であったマスメディアや紙媒体による情報発信に匹敵するものになりつつあります。
- 宮前区においても、「みやまえぽーたろう」をはじめとする地域情報サイトや宮前区観光協会の情報誌「宮前の風」などがありますが、新百合ヶ丘周辺の取組などと比較して、地域や区民を巻き込んだ動きや仕組が十分ではないのが現状です。



【実施内容】

- これからの情報発信は、地域や区民を巻き込み、さまざまなメディアを効果的に活用して戦略的に展開する必要があります。そこで、広く区民に呼びかけて、地域で楽しむことに興味のある区民が気軽に参加し、こうした人たちの視点から継続的に情報発信する仕組として、「(仮称)みやまえ情報サポーターズ」を結成します。



【結成や活動の流れ】

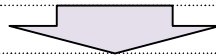
講座を通じた人材育成

- 「(仮称) みやまえ情報サポーターズ講座」では、講座の受講生が「(仮称) コミュニティの参加を促す冊子」を作成しますが、それに加え、ソーシャルメディア (SNS、ブログ、twitter、youtube、Ustream 等) についても学びます。
- さらに、様々な媒体を活用した効果的な情報発信・情報共有の戦略についても学び、その実践訓練として、冊子の作成経過や冊子に掲載する内容を発信していきます。
- こうした活動を経て、ソーシャルメディア活用のノウハウを身に付けます。



(仮称) みやまえ情報サポーターズの結成

- 講座の受講生の有志を中心に、活動に関心のある人も募り、冊子作成後も継続的に情報発信する「みやまえ情報サポーターズ」を結成します。
- みやまえ情報サポーターズは平成 24 年度内に行う講座が終わった後も自主的あるいは組織的に情報収集や取材をして、それをソーシャルメディア等で発信していきます。
- ソーシャルメディア等での関心のある人同士のコミュニケーションやネットワーク化の中で、みやまえ情報サポーターズのコンセプトに共感を持つ人を増やしていきます。



継続的な情報発信

- これらにより実績・経験を重ね、みやまえ情報サポーターズが中心となって新たな付加価値のある情報が、継続的に発信されることが期待されます。
- 活動の展開として、「(仮称) コミュニティの参加を促す冊子」改定版の制作や「歳時記みやまえ」の編集への参加なども想定されます。

【スケジュール】

みやまえ情報サポーターズは、平成 25 年度の早い時期の結成が期待されます。

【課題】

- みやまえ情報サポーターズを結成するにあたり、その枠組をどうするかによって、活動形態や資金についての考え方が変わってきます。

緩やかなネットワーク ⇔ 既存組織が受け皿 ⇔ NPO などの組織体

- ◆ 活動形態 (個人の自由な活動 ⇔ 組織的な活動)
- ◆ 活動領域 (個別の情報収集・発信が中心 ⇔ 地域連携などへの展開も)
- ◆ 資金 (資金需要小 ⇔ 資金的な裏づけが必要)

- ・みやまえ情報サポーターズの状況（人数・能力・メンバーの意向）、受け皿となりうる組織の有無、区役所との関係などの各要素を整理し、メンバーが活動しやすい環境をつくる必要があります。

4 地参知笑部会の検討経過

第1回	9名出席	平成22年8月31日(火)
	・宮前区らしさ・地域特性を活かしたコミュニティづくりのイメージ 等	
第2回	8名出席	平成22年9月30日(木)
	・地産地消の具体的な題材 ・部会名称と部会長	
第3回	9名出席	平成22年12月2日(木)
	・地産地消を通じたコミュニティづくり ・部会の名称	
第4回	8名出席	平成22年1月28日(金)
	・コミュニティづくりにつながる仕掛けづくり ・区民会議フォーラムの開催について	
第5回	9名出席	平成23年4月15日(金)
	・宮前区に愛着をもち、地域への参加を促すための冊子	
第6回	8名出席	平成23年5月16日(月)
	・委員が作成した目次案の報告 ⇒ 目次案のまとめ	
第7回	9名出席	平成23年6月14日(火)
	・コンテンツのイメージと制作体制の検討	
第8回	7名出席	平成23年7月15日(金)
	・冊子の制作体制と区の情報戦略の検討	
第9回	9名出席	平成23年9月28日(水)
	・区の情報戦略について ・コミュニティへの参加を促す冊子について	
第10回	8名出席	平成23年11月2日(水)
	・提案素案の検討	

一緒に雑誌づくり

集まって！！



転入者へ配布 1万部製作

みやまえ情報サポーターズ

養成講座

全15回

10月0日～



講座内容

- ・雑誌づくりの基本
- ・写真の撮り方と編集
- ・雑誌記者との同行取材体験
- ・インターネットでの情報発信 etc.

講師

現役記者／雑誌編集者
コーディネーター
第3期宮前区区民会議委員

✎ 本当に雑誌を発行します！！

本講座では、宮前区が発行する、雑誌や情報発信のお手伝いを
していただける、サポーターを養成する講座です。

15回で、実際に20ページ程度の雑誌を作成します。

また、継続して、宮前区の情報発信していただくサポーターとして、お手伝いいた
だける方を募集します。

文書を書くのが好きな人、写真がご趣味の方、イラストを描く方、パソコンに詳しい
方…ご自分の趣味や特技を活かして、一緒にみやまえを盛りあげませんか？

〇月〇日
申込み開始

主催・申込み 宮前市民館

定員 20名



044-123-456

TEL. 044-789-1234

info@abc.net

先着順



講座詳細
裏面

動画配信についても講習

宮前区区民会議フォーラムの概要（案）

- 1 日時
平成24年3月中旬 13：30から2時間程度
- 2 場所
宮前区役所大会議室
- 3 目的
 - 第3期宮前区区民会議の活動内容を知ってもらう
 - 宮前区の魅力と情報発信について考える
- 4 内容
 - アトラクション 15分程度
 - 区民会議からの報告 40分程度
 - 事例紹介とディスカッション 50分程度

【内容のイメージ】

①アトラクション

- ・宮前区区民会議のテーマであるコミュニティや宮前区の産物を絡めた落語
- ・気軽に参加してもらい、参加者の緊張をほぐすことが目的

②区民会議からの報告

- ・区民会議の仕組の説明と第3期区民会議提言の報告を行う
- ・みやまえ情報サポーターズ養成講座への参加を呼びかけ

③事例発表と意見交換のイメージ

- （発表者）
 - ・地域情報や活動情報を発信している団体等
 - ・地域に開かれた活動をしている団体等 計3～5団体
- （事例紹介）
 - ・日ごろの活動や情報発信の取組を紹介
- （意見交換）
 - ・宮前区の魅力
 - ・参加を促す効果的な情報発信
 - ・第3期区民会議の取組へのコメント

5 その他

- ・事例発表団体のポスター展示
- ・第2期提言「みやまえカルタ」や「冒険遊び場」の活動状況などの展示
- ・休憩時間中に、ミニ「みやまえカルタ」大会。来場者も一緒に参加
- ・委員全員が協力して、セッティングや受付などの運営を行う

宮前区冒険遊び場活動支援事業

冒険遊び場をひろめよう！（第2期宮前区区民会議提案事業）

【事業の趣旨】

公園を次世代育成や地域コミュニティの場として活用していくため、地域の人達が中心になって立ち上げる冒険遊び場活動を区役所が支援することで、冒険遊び場を区内に広めていく

【区役所の支援体制】

子ども支援室、道路公園センター、地域振興課、企画課、生涯学習支援課

【支援メニュー】

相談・情報提供、試行開催のサポート、団体登録、必要物品の貸出、地域人材の紹介、冒険遊び場の普及・啓発、グループ同士の交流の支援

【これまでの取組】

《平成22年度》

冒険遊び場支援検討委員会を立ち上げ、冒険遊び場のルールと行政支援のあり方を検討

《平成23年度》

- 4月1日（金）宮前区冒険遊び場活動支援要綱 施行
- 9月11日（日）冒険遊び場シンポジウム 参加者：約50名
基調講演「地域の中の冒険遊び場とは」
パネルディスカッション「宮前区における外遊びの現状と課題」
- 9月30日（金）冒険遊び場支援委員会 設立総会
委員15名、協力団体7団体で設立
- 10月5日（水）宮前市民館「冒険遊び場づくり講座」 受講者：17名
市民自主企画講座として企画委員を公募し、講座の内容を決定。全8回の連続講座
講座の中で実際にグループを作って冒険遊び場を実施
土橋1丁目公園 11月30日（水）、宮崎第1公園 12月6日（火）
- 10月16日（日）宮前区民祭「出張冒険遊び場」(菅生緑地) 参加者：約500名
日本冒険遊び場づくり協会からプレイリーダー
3名を派遣してもらい、冒険遊び場支援委員会
と協働で開催



宮前区冒険遊び場のモットー

- 自分の責任で自由に遊ぶ
- ケガと弁当は自分持ち
- 最後はいつもの公園に戻る

【これからの取組】

最終的に中学校区ごとに冒険遊び場が立ち上がるように、引き続き要綱に基づく団体の立ち上げ支援と、出張冒険遊び場、冒険遊び場づくり講座、普及啓発事業（シンポジウム・講演会等）等の各種事業を実施していく。

～いつまでも、伝えたい、残したい、私たちのふる里～

みやまえカルタ制作事業

(第2期宮前区区民会議提案事業)

この事業は、「みやまえカルタ」の制作を通じて、幅広い世代の方々がかわりながら、地域の「資源」を掘り起こし宮前区の「宝」・「顔」へと進めていく過程で、区民に地域への愛着を涵養し地域コミュニティの活性化につなげるものです。

地域で活動している団体等で組織する「みやまえカルタ制作実行委員会」により、平成22年度から平成24年度までの3カ年で事業を進めています。

【H22年度】「地域のカルタ」読み札・絵札案の募集、整理

【H23年度】「地域のカルタ」制作（7中学校区分作成、12月完成）

- ・ 第30回宮前区民祭において、ジャンボカルタ大会実施
- ・ 「みやまえ・本とお話の一週間」、子育てフェスタで展示



中学校区版読み札の
説明書（A2判）と
ジャンボカルタ（A
3判）の例

【H24年度】区制30周年記念「みやまえカルタ」制作（地域のカルタから選抜）*第31回宮前区民祭でお披露目予定

★制作過程のみならずカルタの完成後においても、適宜行う広報や地域でのイベント、学校教材としての活用等を通じて、区民に地域を知り、地域への愛着を深めてもらう

今後のスケジュール

平成23年度のスケジュール

年度	平成 23 年度											
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
全体会					第5回区民会議			第6回区民会議 11/28(月)		第7回区民会議	区長への提案	区民会議フォーラム
				予算を想定した提案			・区長への提案素案確認 ・フォーラムイメージ			・区長への提案確認 ・フォーラム確認		
	企画				●			●		●	●	●
専門部会	地参知笑部会	●	●		●		●	●		●		
	活力づくり部会	●	●		●		●	●		●		
										・提案のまとめ ・フォーラム確認		
										・提案のまとめ ・フォーラム確認		

開催数は必要に応じて調整

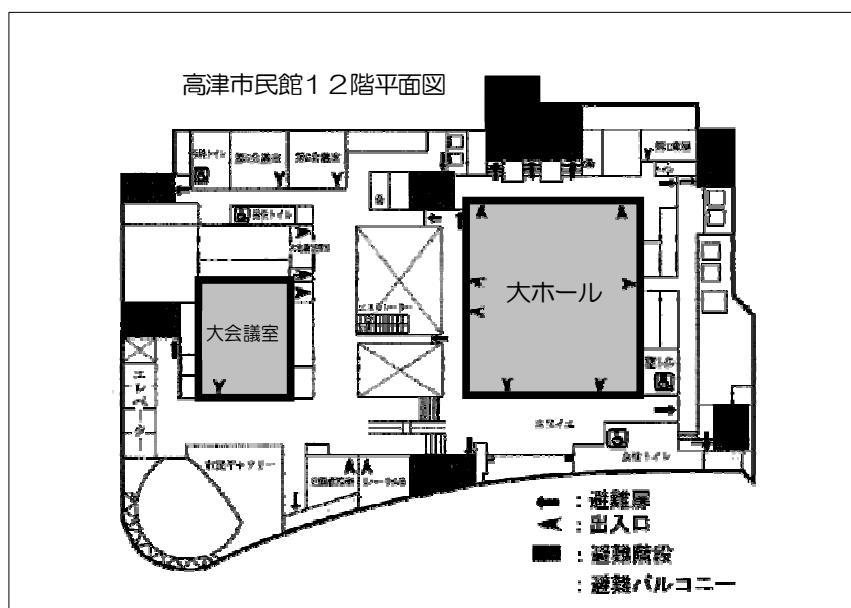
かわさき自治推進フォーラム2012の開催について

1 開催概要

- ・日 時 平成24年1月29日(日) 13:00~17:30
- ・場 所 川崎市高津市民館
- ・テーマ 活かせ！川崎の地域力 ～深めよう、人と人とのつながりを～
- ・主 催 かわさき自治推進フォーラム2012実行委員会、川崎市
- ・ねらい
 - ・自治基本条例の考え方に触れる機会の提供
 - ・全市的な課題の共有による自治の担い手のステップアップ
 - ・多様な主体による地域課題解決の仕組みである区民会議のPR、活性化

2 タイムテーブル

12:30		開場	—
13:00~13:05	【5分】	開会、市長あいさつ	大ホール
13:05~14:05	【60分】	基調講演 講 師：中西哲生さん (川崎フロンターレ特命大使) テーマ：人と地域の結びつき ～川崎フロンターレでの経験から～	大ホール
14:10~15:20	【70分】	パネルディスカッション テーマ：開かれたコミュニティづくりを考える ～地域での「つながり」の事例から～ ※コーディネーター、事例発表者は調整中	大ホール
15:35~17:15	【100分】	区民会議交流会	大会議室
17:15~17:30	【15分】	実行委員長によるまとめ、閉会	大会議室



担当：総合企画局自治政策部

電 話 200-2168

FAX 200-3800

平成23年度区民会議交流会の開催について（案）

1 背景と目的

第1期自治推進委員会から、各区の区民会議委員同士が学びあいながら、お互い協力し合って取組を発展させるため、「各区の区民会議の交流」を行うことが提言されました。

それを受けて、平成21年度（第2期区民会議）において、各区の委員が集まり、お互いの取組状況や運営方法の情報交換を行うとともに、相互の連携を深めることで今後の区民会議の発展につなげることを目的に7区の区民会議交流会を開催しました。平成22年度（第3期区民会議）におきましては、区民会議の取組内容をPRし、より多くの市民に区民会議を周知することを新たな目的に加え、交流会を開催する予定でありましたが、東日本大震災の影響により中止となりました。平成23年度は、基本的に昨年度の目的や内容を継承し、交流会を開催したいと考えております。

2 開催日時

平成23年1月29日（日） 15:35～17:15（予定）

3 開催場所

川崎市高津市民館

4 内容

	平成23年度（予定）	平成22年度（震災により中止）
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ●各区区民会議委員3名ずつ ●市長 ●総合企画局長、各区長、ほか行政関係者 ●傍聴者（その他の委員・参与を含む） 	<ul style="list-style-type: none"> ●各区区民会議委員3名ずつ ●市長 ●総合企画局長、各区長、ほか行政関係者 ●傍聴者（その他の委員・参与を含む）
位置付け	かわさき自治推進フォーラム2012のプログラムの一つとして開催	かわさき自治推進フォーラム2011の分科会の一つとして開催
時間	100分程度	120分
流れ	<ul style="list-style-type: none"> ●各区区民会議取組状況の報告 ・各区で作成した配布資料に基づき説明 ●意見交換テーマ ※右記①②から、1つを選択する予定 ●まとめ（市長） 	<ul style="list-style-type: none"> ●各区区民会議取組状況の報告 ・各区で作成した配布資料に基づき説明 ●意見交換テーマ ①地域で果たす区民会議の役割について ②区民会議の提案が地域で広がるための方法について ●まとめ（市長）

第3期区民会議：平成23年度「区民会議交流会」出席者名簿

(敬称略)

区名	氏名	区民会議における役職
川崎区	うおつ としおき 魚津 利興	委員長
	あらい けいはち 荒井 敬八	副委員長
	ばく よんじゃ 朴 栄子	子ども部会部会長
幸区	にしの きょういち 西野 恭一	委員長
	おしやま かねつぐ 押山 兼二	環境部会委員
	とくら もりあき 土倉 護曜	安心・思いやり部会部会長
中原区	すずき まちこ 鈴木 眞智子	委員長
	かわつれ まさひさ 川連 昌久	副委員長
	すぎの しげひこ 杉野 茂彦	副委員長
高津区	さとう ただし 佐藤 忠	委員長
	とみた まこと 富田 誠	副委員長
	かわむら まりこ 河村 麻莉子	企画運営会議委員
宮前区	やました ひろし 山下 浩	委員長
	さとう としえ 佐藤 利枝	活力づくり部会部会長
	もちだ まさみ 持田 正美	地参知笑部会部会長
多摩区	いけの ひろし 池野 廣	委員長
	はつた はるこ 初田 温子	副委員長
	とだか じんこ 戸高 仁子	環境・観光部会部会長
麻生区	たけなみ きょうこ 武濤 京子	委員長
	かねみつ ひでなお 金光 秀尚	企画部会部会長
	ふくだ しん 福田 真	環境・緑化部会部会長

・ ・ 議長、 ・ ・ 副議長

平成24年度宮前区地域課題対応事業 計画(案)

安全・安心まちづくり事業

番号	事業名	概要
1	安全安心まちづくり推進事業	「自分たちの街は自分たちで守る」という考え方を基本に、「防犯」「交通安全」「防災」の各分野において自助、公助活動をサポートし、安全安心なまちづくりへ向けた区民活動を推進する。また、高津区などと情報交換し、区境・市境における地域防犯パトロールなどを支援する。
2	子ども安全・安心見守り事業 (区民会議課題)	登下校時に子どもを犯罪から守り、地域の安全を確保するために、宮前区子ども安全安心協議会の運営のほか、地域安全マップづくりの支援や情報共有を図るため通信を発行する。
3	防災意識普及啓発事業 (区民会議課題)	大規模災害に備え区民の防災意識の向上を図るために、防災フェアの開催、防災ニュースの発行を行うほか、防災推進員養成研修及び防災推進員フォロー研修を開催する。
4	地域連携による総合防災訓練 実施事業(局区連携事業)	東日本大震災で課題となった一時避難する住民・帰宅困難者への対応や、災害時に重要となる初動体制行政と地域の連携を確認するため、総合防災訓練を実施する。
5	地域交通環境整備事業 (局区連携事業)	公共交通網が区内の一点に集まる都市構造になっておらず、山坂が多く徒歩や自転車での移動に制約を受けながら、既存のバス路線を利用しづらい地区があるため、地域交通環境の整備に向けた検討を行う。

地域福祉・健康づくり事業

番号	事業名	概要
1	健康づくり支援事業	区民が健康で生き生きと生活していくため、身近な健康づくりや取り組みやすい情報を提供する健康づくり情報紙を発行する。
2	地域が主体となった 高齢者の見守り促進事業 (局区連携事業)	高齢者の孤立化を防ぎ、地域で安心して暮らしていくために、区内の公営住宅において、住民同士の顔の見える関係づくりを進め、地域主体の見守り活動や居場所づくりにつなげるための取組を行う。
3	こどもの虫歯予防支援事業	乳幼児の虫歯予防について正しい知識を獲得することで定期健診やフッ素塗布を促すため子育て世代にわかりやすい虫歯予防のポイントや食事と歯の関連等を入れた小冊子を発行する。

平成24年度宮前区地域課題対応事業 計画(案)

総合的な子ども支援事業

番号	事業名	概要
1	子育て情報発信事業 (区民会議課題)	子育て情報紙の発行やホームページの更新、乳幼児のいる転入世帯等に対する子育て支援に関わる情報を一体的に提供する。
2	宮前区子育て支援事業 (区民会議課題)	親の子育て力を養成し、仲間づくりや子育てグループの人材育成を図るため、子育てに関する知識と技術を持つ公立保育園の人材を活用し、セミナーを開催する。
3	子ども支援ネットワーク事業 (区民会議課題)	子どもに係る関係機関・団体等とのネットワーク強化を図るため、関係機関・団体等との会議を開催するほか、事例検討会、虐待予防のための講演会を開催する。
4	子育て支援食育推進事業	区内の栄養士による地域子育て支援食育講座を開催し、子育て世代の保護者に食事に関する正しい情報を提供することで子育ての不安や悩みを解消する。
5	子ども包括支援事業	野川・有馬地区の子ども・子育て拠点「こどもサポート南野川」で、いじめや不登校の子どもの居場所づくり、子育てサロンや子育て相談、フリースペースの開催などを行う。

環境まちづくり事業

番号	事業名	概要
1	花と緑のあふれる 住みよいまちづくり事業	区内の緑化を促進するため、地域緑化推進地区や緑化活動団体に花苗などを提供するとともに、緑化推進団体間のネットワークを構築するための勉強会を開催する。
2	e c oゴコロプロジェクト 推進事業	環境に配慮した暮らし方「エコ暮らし」について、区民による環境配慮行動や設備の導入に向けた実践行動を促す。
3	公園の魅力アピール事業 (区民会議課題)	公園の利用促進と地域コミュニティの活性化のため、地域の申請に応じて公園に掲示板を設置し、公園で活動している団体の情報や公園で行われるイベント等の情報発信をする。

地域資源活用事業

番号	事業名	概要
1	みやまえロビーコンサート 開催事業	区民に親しまれる区役所をめざして、区役所2階ロビーまたは区内の行政施設で月1回、質の高い様々なジャンルの音楽を提供するコンサートを行う。
2	みやまえ太鼓ミーティング 開催事業	地域の文化・伝統を再認識し、個性豊かで魅力ある文化の創造をめざして、区内に数多く残る民俗芸能や和太鼓の演奏を行う。

平成24年度宮前区地域課題対応事業 計画(案)

番号	事業名	概要
3	しあわせを呼ぶコンサート 開催事業	音楽を通じ、障害者と健常者の相互理解と交流を深めながら区民の心のバリアフリーをめざすとともに、障害者の社会参加と自立を促すため、コンサートを実施する。
4	宮前区民祭記念イベント 実施事業	平成24年度に区制30周年を迎えることから、区民祭において地域の魅力発信及び集客向上のためのイベントを企画・実施する。
5	地域の魅力発信事業	地元に対する愛着の醸成や来訪者の増加を図り地域の活性化を図るため、地域を巡るウォーキングイベントの実施やマップの作成により、地域の魅力発信を行う。
6	みやまえ映像コンクール 支援事業	中学生が地域を知り、親しむ機会を確保しつつ、「映像のまち かわさき」を推進するため、市民活動団体が中学生を対象に実施している映像コンクールを支援する。また、シニア向け講座を開催する。
7	友好都市交流事業	宮前区観光協会と協働し、友好都市長野県佐久市との物産・観光交流や市民間交流などの交流事業を行う。
8	宮前区誕生30周年記念 音楽推進事業	7月1日の創立記念式典&コンサートを市消防音楽隊が、続く7月15日には宮前フィルハーモニー交響楽団による子どものための無料コンサート「音楽のおもちゃ箱」を開催する。

地域コミュニティ活性化推進事業

番号	事業名	概要
1	まちづくり推進事業	魅力あるまちづくりを推進するため、中間支援機能を有するまちづくり協議会と協働し、地域の市民活動団体への支援等に取り組む。
2	まちづくり支援事業	中間支援機能を持つまちづくり協議会の効率的かつ効果的な運営と区民のまちづくり活動に対する支援を行う。
3	みやまえスポーツ ふえすていばる開催事業	スポーツを通じた区民同士の交流と健康増進を図るために、各種スポーツ事業を実施するとともに、地域スポーツの活性化を図る。
4	地域情報発信事業 (区民会議課題)	世代間・地域間交流の活性化のために、地域のスポーツや祭りなどの情報をイベントカレンダーや地域ポータルサイトで広く発信するほか、町内会・自治会への回覧物を毎月1回一括して送付することで、地域情報の発信を効果的・効率的に行う。
5	宮前ガイドマップ作成事業	転入者を主な配布対象とし、地域を知って愛着を持ってもらえるよう宮前区と区内主要施設を紹介するガイドマップを修正し発行する(毎年度増刷・情報更新)。
6	宮前区ガイドブック改訂事業	宮前区の魅力を深く知り、宮前区のイメージアップを図るため、「宮前区ガイドブック」の改訂版を発行する。

平成24年度宮前区地域課題対応事業 計画(案)

番号	事業名	概要
7	シニアライフ支援事業 (区民会議課題)	シニア世代の人生設計や生きがいづくりをサポートするとともに、その活力を地域で活かすために、相談窓口を開設する。
8	多様な主体の社会参加促進事業	遊びを通じて世代間の交流と多様な市民の交流を図るために、「夏休みこども遊びランド」を実施する。
9	地域活動の促進に向けた人材育成 及び推進体制の整備事業	地域人材の育成と活用を進めるため、区役所各課が連携したモデル事業や地域人材育成指針の策定を行う。
10	市民活動支援拠点の ネットワーク事業	市民活動の活性化を図るため、区民活動支援拠点施設を充実させ地域コミュニティの醸成につなげる。また、市民活動団体の活性化を目的とした冊子等を発行する。
11	みやまえカルタ制作事業 (区民会議課題)	地域への愛着を育み、地域コミュニティの活性化を図るため、地域の「資源」や「宝」を題材にしたカルタを地域が主体となって制作する。
12	冒険あそび場活動支援事業 (局区連携事業)	公園などを活用し、地域が主体となって行う「冒険あそび場」を支援することで、地域コミュニティの活性化と次世代育成の場づくりを進める。
13	宮前区誕生30周年まつり開催事業	宮前区誕生30周年記念式典にあわせ、地域コミュニティの創造や育成のきっかけとするため体験型企画及び出店を中心とした、市民活動団体によるふれあいを重視した催しを実施する。
14	区制30周年・アルテリッカ 演奏会開催事業 (局区連携事業)	「音楽のまち・かわさき」を推進し、アルテリッカプレイイベントとして東京交響楽団による区制30周年記念コンサートを実施する。
15	宮前区誕生30周年記念事業	区制30周年を契機として区民の連帯意識をより高めるため、記念式典や記念イベントを実施する。
16	坂道を活かした活力づくり事業 (区民会議課題)	マイナスイメージのある坂道を活用し、健康づくりやコミュニティづくりにつながる「坂道ウォーキングマップ」の作成し、地域への愛着、参加促進を促す。
17	魅力あるスポーツ推進事業 (局区連携事業)	既存施設等を活用し、より多くの区民がスポーツに親しめる環境を作る。

区役所サービス向上事業

番号	事業名	概要
1	宮前区役所BGM配信事業	庁舎の雰囲気をもくもくし、来庁者に親しまれる区役所をめざし、庁舎内にBGMを流す。
2	バリアフリー推進事業	来庁者が安心して利用できる庁舎整備の一環として、市民広場南側の階段部分をノンスリップ化するとともに、階段であることが明確に分かるような塗装を行う。
3	窓口サービス向上事業	区民課の待合スペースの環境整備を行う。

平成24年度宮前区地域課題対応事業 計画(案)

地域課題対応その他事業

番号	事業名	概要
1	管理運営費	地域対応事業の事務経費等
2	緊急対応費	緊急的な事業に対応するための経費
3	地域の課題解決を図る 事業提案制度事業	地域の課題を地域自ら解決していくことを目指し、区民会議から提案された課題の解決等に取り組む団体等を広く募集し、委託、事業補助などの手法で事業を実施する。